

【白河市】

令和6年度全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

市民の皆様へ

白河市教育委員会

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果及び考察についてお知らせします。

この調査は、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

調査対象は小学6年生と中学3年生で、「教科に関する調査」と学習意欲や学習環境などを調査する「質問紙調査」を実施しました。教科に関する調査では、小学校は国語と算数の2教科を実施しました。また、中学校は国語と数学の2教科を実施しました。

教育委員会では、市内小中学校の調査結果と考察を公表することにより、学校、保護者、地域と一体となって学力向上や学習環境の改善に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いします。

〈小学6年生の平均正答率〉

(単位%)

| | 国語 | 算数 |
|-----|------|------|
| 白河市 | 69 | 62 |
| 福島県 | 66 | 60 |
| 全国 | 67.7 | 63.4 |

【考察】

「国語」

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では、文章の中で主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる問題が高い正答率でした。これは文章の中で話し言葉と書き言葉を分けて正しく使うという指導をしてきた成果であると考えています。
- 「読むこと」の領域では、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする問題が高い正答率でした。これは各学校において授業の充実に加え、読書の推進を図る取組を行っている成果であると考えています。

「算数」

- 「データの活用」の領域では、示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表して考える問題が高い正答率でした。これは考えの根拠となる言葉や数を表しながら、友だちに説明できるように指導してきた成果であると考えています。
- 「変化と関係」の領域では、速さの理解についての課題が見られました。日常生活に関連づけながら、速さ、道のり、時間の関係性についての確認をするとともに、数直線や図などを用いて考えたり説明したりすることで、よりよい解決策を見つけることができるよう指導していきます。

〈中学3年生の平均正答率〉

(単位%)

| | 国語 | 数学 |
|-----|------|------|
| 白河市 | 60 | 50 |
| 福島県 | 57 | 48 |
| 全国 | 58.1 | 52.5 |

【考察】

「国語」

- 「書くこと」の領域では、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文書になるように工夫することができるかどうかをみる問題が高い正答率でした。普段の授業の中で、自分の考えをノートにまとめるだけではなく、字数の制限や課題作文など、条件に応じた書き方を指導してきた成果であると考えています。
- 「読むこと」の領域では、文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる問題が高い正答率でした。これは書くことの学習と関連させ、書く目的や伝える相手に応じて効果的に図表を用いて書く指導をしてきた成果であると考えています。

「数学」

- 「数と式」の領域では、連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる問題に課題がみられました。今後は文字を用いて式を表現したり、式の意味を読み取ったりする力を養うとともに、文字を用いた式を具体的な場面で活用し、理解が高まるような指導をしていきます。
- 「図形」の領域では、筋道を立てて考え、証明することに課題がみられました。基本的な図形の性質を理解させ、段階的な指導で論理的思考力を高めるとともに、振り返りや意見交換を通して新たな発見を促し、多様な考え方で図形の性質を証明できる力を育むことができるよう指導していきます。

令和6年度全国学力・学習状況調査

質問紙調査結果及び考察について

市民の皆様へ

白河市教育委員会

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について、質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせします。

お知らせする結果は、児童生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果であり、それを公表することで、学校と家庭と地域との連携を図っていきたいと考えております。

この結果をもとに、教育委員会は、改善に向けた取組を学校とともに行っていきますが、考察では、保護者や地域の方々をお願いしたい内容もありますので、ご協力をよろしくお願い致します。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

(単位%)

| | | できている | どちらかといえば できている | どちらかといえば できていない | できていない |
|--------|-----|-------|-------------------|--------------------|--------|
| 小 6 | 白河市 | 30.1 | 57.8 | 10.3 | 1.7 |
| | 福島県 | 30.5 | 52.8 | 14.3 | 2.3 |
| | 全国 | 30.3 | 50.4 | 16.2 | 3.1 |
| 中 3 | 白河市 | 26.5 | 54.1 | 17.2 | 2.3 |
| | 福島県 | 27.5 | 52.2 | 17.6 | 2.4 |
| | 全国 | 28.2 | 50.4 | 18.1 | 3.0 |

【考察】

- 「できている」「どちらかといえばできている」と回答している児童生徒の割合が、小学校では約88%、中学校では約81%で全国の割合を上回りました。これは各学校で授業中、学び合う時間を設け、様々な考えに触れる時間を多くすることで、多様な視点から課題を考えることができるようになってきた成果であると考えられます。
- 今後も1つの考えや方法だけではなく、他にもよい手立てはないか考えるなど、思考力をさらに伸ばすことができるよう指導していきます。

2 授業以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。

(単位%)

| | | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | 全くしない |
|---|-----|-------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|
| 小 | 白河市 | 4.5 | 11.9 | 40.1 | 30.5 | 7.2 | 5.5 |
| | 福島県 | 5.3 | 13.2 | 44.7 | 25.9 | 7.4 | 3.5 |
| | 全国 | 11.0 | 12.5 | 31.1 | 27.0 | 13.0 | 5.3 |
| 中 | 白河市 | 3.2 | 25.8 | 46.4 | 16.7 | 5.4 | 2.3 |
| | 福島県 | 4.6 | 22.0 | 43.1 | 20.3 | 6.7 | 3.0 |
| | 全国 | 9.2 | 22.5 | 32.6 | 18.4 | 10.4 | 6.6 |

【考察】

- 1時間以上勉強している児童生徒の割合は、小学校では約57%、中学校では約75%で全国の割合を上回りました。家庭での学習習慣が身につけている児童生徒が多いと考えられます。
- 小学校では約13%、中学校では約8%の児童生徒が「30分未満」、または「全くしない」と回答していますので、家庭学習に取り組めない原因を明らかにし、計画の立て方や取り組む内容などについて個に応じた指導をしていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

(単位%)

| | | 当てはまる | どちらかといえば 当てはまる | どちらかといえば 当てはまらない | 当てはまらない |
|---|-----|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 小 | 白河市 | 34.8 | 51.8 | 11.7 | 1.7 |
| | 福島県 | 34.4 | 50.4 | 13.0 | 2.2 |
| | 全国 | 31.9 | 48.9 | 16.0 | 3.1 |
| 中 | 白河市 | 29.6 | 53.2 | 14.0 | 2.3 |
| | 福島県 | 27.6 | 53.0 | 16.2 | 2.3 |
| | 全国 | 27.1 | 50.8 | 18.0 | 3.2 |

【考察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答している児童生徒の割合が、小学校では約87%、中学校では約83%で全国の割合を上回りました。普段の授業において、分かったことや分からなかった点を振り返ったり、適用問題に取り組んだりして学習内容の定着を図るための時間を確保している成果と考えられます。
- 今後も、分からないことをそのままにしないという意識を持たせるとともに、授業と家庭学習をつなぐ課題を提示するなどの指導をしていきます。ご家庭でも声をかけたり、励ましたりして下さるようご協力をお願いします。